

# めぶき東アジアレポート

## MEBUKI EAST ASIA REPORT

Shanghai / Hong Kong / Taiwan

2020年8月号

◇ 【 香港通信 】	香港ドル・米ドルペッグ制度	1
◇ 【 上海通信 】	中国経済（2020年上半期）の総括	3
◇ 【 ニューストピックス 】	2020年6～7月の動き	4
◇ 【 東アジア駐在員コラム 】	上海夏の風物詩（グルメ編）	6
◇ 【 株式市場・為替情報 】		7
◇ 【 めぶきFGアジアネットワークのご紹介 】		8
◇ 【 めぶきFGイベント情報 】		10

### 常陽銀行上海駐在員事務所

上海市長寧区延安西路 2201 号  
上海国際貿易中心 1901 室  
TEL : +86-21-6209-0258  
E-mail : joyosh@uninet.org

### 足利銀行香港駐在員事務所

Suite 1601, 16/F, Tower 2 The Gateway  
Harbour City, Tsim Sha Tsui, Kowloon, HK  
TEL : +852-2251-9475  
E-mail : hongkongrep@ashikagabk.com.hk

本レポートの内容につきましては、当行の信頼し得る先からの情報に基づいて作成しておりますが、その正確性、信頼性を保証するものではありません。具体的に法律上、会計上、税務上の助言を必要とされる場合は、それぞれの専門家にご相談くださいますようお願いいたします。



# 香港通信

## —香港ドル・米ドルペッグ制度—

香港国家安全維持法が2020年6月30日に施行されたことを受け、米国の制裁が香港の米ドルペッグ制度へも及ぶのではないかとの懸念が広がりました。本稿では、同制度について解説いたします。

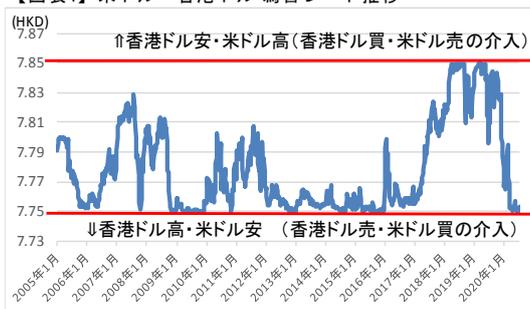
### 1. 固定相場制について

比較的規模の小さい国や地域の中には、米ドルや様々な通貨バスケットと為替レートを固定、または限定的にする通貨制度を採用する国があり、香港もその一つです。固定相場制を導入することにより、貿易取引に伴う価格変動リスクを低減するメリットがあり、産業の振興に寄与する効果があります。一方、為替レート安定が重視されることから、国内（域内）の金利変動が海外の景気・金利動向に左右されてしまうデメリットもあります。例えば、自国通貨売りが増加している局面では、国内景気が悪化していても金利の引き上げを行う必要がある場合などがあります。なお、日本では1973年まで固定相場制を採用していました。

### 2. 香港の米ドルペッグの仕組み

香港ドルは、カレンシーボード制を採用しています。これは、中央銀行に相当する香港金融管理局(Hong Kong Monetary Authority、以下HKMA)が通貨発行額の100%同額以上の外貨準備(米ドル)を保有することにより、固定相場で米ドルとの交換を完全に保証する仕組みです。香港では1983年に、英国・中国間の香港返還交渉時の市場混乱を収束させるために導入されました。当初は1米ドル=7.8香港ドルにペッグ(固定)されていましたが、2000年5月からは、目標相場1米ドル=7.75~7.85香港ドルの範囲内で固定されています。目標相場の上下限に迫る場合には、HKMAが市場介入を行うことで、為替レートを維持しています。

【図表1】米ドル・香港ドル 為替レート推移

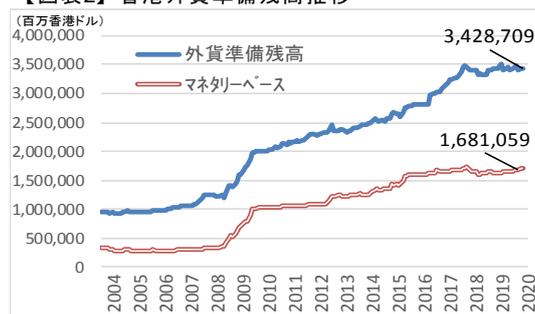


出所: Investing.comより香港駐在員事務所にて作成

### 3. 香港の外貨準備残高

為替レートが、ペッグ下限(香港ドル安方向)1米ドル=7.85に迫る場合に行う香港ドル買い米ドル売りの市場介入には、香港の外貨準備金が財源となるため、ドルペッグ制度の維持には外貨準備残高自体の維持が不可欠です。

【図表2】香港外貨準備残高推移



出所: HKMA発表より香港駐在員事務所にて作成

HKMA が保有する外貨準備額は、香港ドルの発行残高（ベースマネー）の約 2 倍超と、当面のドルペッグ維持に十分な米ドルが確保されていると考えられます。

#### 4. 米国による、香港ドル・米ドルペッグへの制裁

##### (1) 香港発券銀行への制裁の影響

中国による国家安全維持法制定以降、米国が香港の米ドルペッグ制を弱める制裁を行なうとの報道がされています。ここで検討された制裁は、香港ドルの発券銀行<sup>1</sup>となっている 3 銀行（香港上海銀行、スタンダードチャータード銀行、中国銀行）に対して、米ドル取引を制限する措置だと考えられます。この措置が取られた場合、発券銀行では米ドルを調達できなくなり、米ドル保有残高が次第に減少することになります。前述の通り、香港では「発券銀行が保有する米ドルの残高に見合う分だけ、香港ドルを供給できる」制度となっているため、香港ドルの供給が制限されて、流動性危機や金融システム不安の発生に繋がります。これらの不安を解消するためには、カレンシーボード制を放棄して香港ドルを供給する必要がありますが、その際には、需給バランスの変化や信認の低下から香港ドルは下落すると考えられます。

##### (2) 現状の方向性

香港の発券銀行の米ドル取引を制限すると、香港に進出している米国を含む外資系銀行にも影響が出るほか、他の国や地域の金融市場にも混乱が波及してグローバルな危機に至る可能性があります。同時にこれらは本来制裁の対象としたい中国ではなく、香港企業や市民生活を圧迫することになってしまうため、トランプ政権内で香港の米ドルペッグ制を対象にした制裁が一時検討されましたが、結局取り下げられたと報道されています（7月14日付ブルームバーグ）。

#### 5. 香港への資金流入

当地の報道では、香港国家安全維持法の施行や米国の制裁懸念から、資産流出を懸念する報道が多くみられましたが、実際には香港への資金流入が続いています。米ドル香港ドルの為替相場が上限である 1 米ドル＝7.75 ドルに迫る水準で推移しており、HKMA は 6～7 月において合計 18 回、635 億香港ドル（8,891 億円相当）の香港ドル売り・米ドル買い市場介入を行っています（7月17日時点）。

背景には米国の FRB によるコロナ対応の金融緩和策に伴う米ドル安があると考えられますが、香港からの資本流出は限定的であり、少なくとも現状では市場は冷静に受け止めているようです。

（足利銀行香港駐在員事務所 駐在員 鈴木庸之）

---

<sup>1</sup> 香港の発券銀行…日本は中央銀行である日本銀行が発券銀行であるが、香港は民間 3 銀行（香港上海銀行、スタンダードチャータード銀行、中国銀行）が発券を担う。発券する香港ドルと同額の米ドルを、HKMA に預託する。

# 上海通信

## —中国経済（2020年上半期）の総括—

### 1. 経済指標

下表の通り、中国国家统计局が発表した2020年上半期（1～6月）の経済指標はCPIを除き鈍化しましたが、新型コロナウイルス感染拡大の封じ込めに成功したとする第2Q（4～6月）の実質GDP成長率は前年同期比+3.2%と市場予想を大きく上回るプラス成長となりました。リセッション（景気後退局面）入りとされる2四半期連続のマイナス成長を回避し（第1Qは▲6.8%）、世界に先駆けて中国経済が回復軌道へ戻りつつあることを強く印象付けました。

【図表】各種経済指標

項目	金額 (2020年1～6月)	対前年同期比成長率 (2020年1～6月)
(1) 国内総生産(GDP)	45兆6,614億元	▲1.6%
(2) 社会消費品小売総額	17兆2,256億元	▲11.4%
(3) 固定資産投資	28兆1,603億元	▲3.1%
(4) 貿易収支	1,678億米ドル	—
輸出額	1兆988億米ドル	▲6.2%
輸入額	9,310億米ドル	▲7.1%
(5) 工業生産増加額	—	▲1.3%
(6) 生産者物価指数(PPI)	—	▲1.9
(7) 消費者物価指数(CPI)	—	3.8

(出所) 中国国家统计局発表より当事務所作成

### 2. 中国政府の対応と中国経済の動向

#### (1) 財政・金融政策の後押し

中国政府は社会保険料の企業負担部分免除、飲食店などの増値税（付加価値税）免除など38兆円を超える減税措置の期限を当初の6月末から12月末まで延長したほか、中小企業向け融資の元利金返済猶予措置についても6月末から来年3月末に期限を延ばし、企業経営への打撃軽減を図っています。

#### (2) 生産と投資は好調

中国政府は一時的に国外退避した外国人技術者へ優先的に臨時ビザを発給するなど、生産活動の再開を全面的に支援。特に自動車と半導体の回復が顕著で、工業生産は▲8.4%（第1Q）から+4.4%（第2Q）まで大幅に改善しています。また、不動産投資とインフラ投資が加速、固定資産投資のマイナス幅は急激に縮小しています。

#### (3) 雇用と消費の回復が遅れる

一方、第1Qの都市部新規雇用者数229万人（前年同期比▲29.3%）を上回り、第2Qは335万人（同▲18.9%）となったものの、中国政府が重視する雇用部門の回復の鈍さが目立ちます。

### 3. 今後の見通し

本邦を含む主要各国同様、中国にも感染拡大の第二波が訪れる可能性は否定できず、先行きは依然として不透明といえます。長江流域を中心とした豪雨による水害などの自然災害や米中対立をはじめとする国際関係にも注意が必要で、中国経済は今後も予断を許さない状況が続きます。

(常陽銀行上海駐在員事務所 主任駐在員 青柳暢幸)

## ニューストピックス

### ○経済

- ・ 世界成長、マイナス 4.9%＝コロナ長引き再び下げ—IMF 予測 (6/29)
- ・ 野村、4～6 月期の中国成長率見通しを 2.6%に上方修正＝通年は 1.5% (6/30)
- ・ 中国、1～5 月の国有企業純利益、61.6%減＝落ち込み幅は改善 (7/1)
- ・ 香港、5 月の小売売上高、32.8%減＝下げ幅は減少—統計局 (7/1)
- ・ 中国企業、香港重複上場を加速＝米締め出しの動きが後押し (7/6)
- ・ 6 月の中国消費者物価、2.5%上昇＝卸売物価は 3%低下 (7/9)
- ・ 4～6 月期の中国成長率予想、2.37%＝通年は 2.16%—経済紙調査 (7/10)
- ・ 6 月の中国輸出 0.5%増＝2 カ月ぶり小幅プラス (7/15)
- ・ 台湾、上場企業の時価総額が過去最高＝TSMC など大型株に資金流入 (7/15)
- ・ 中国 GDP、3.2%増＝マイナス成長から急回復—4～6 月期 (7/16)
- ・ 中国、個人消費に勢い戻らず＝景気回復の重しに (7/17)
- ・ 中国、6 月の対中投資、7.1%増＝3 カ月連続プラス—商務省 (7/17)
- ・ 上半期の可処分所得、コロナ流行で実質 1.3%減 (7/21)
- ・ 香港、今後 10 年でゼロ成長の可能性も＝「特殊性」喪失で—S&P グローバル (7/21)

### ○金融

- ・ S&P、中国格付け「A プラス」据え置き＝見通しは「安定的」(7/1)
- ・ 人民銀、再割引金利と再貸出金利を 1 日に引き下げ＝関係筋 (7/2)
- ・ 防衛関連大手の華訊科技、5 億元の社債デフォルト＝広東省 (7/6)
- ・ 上海株 5 年ぶり上げ幅＝国家安全法施行後、連日上昇 (7/7)
- ・ 深センの銀行、10 月から大口取引の管理強化＝広東省 (7/7)
- ・ 中国、社債デフォルト、上半期は 46%増加 (7/8)
- ・ 6 月末の中国外貨準備高、3 兆 1,123 億ドル＝前月比 106 億ドル増 (7/8)
- ・ 6 月の香港外貨準備高、4,459 億ドル (7/8)
- ・ 中国、不動産業界の社債償還、下半期は 8.5 兆円＝資金繰りに不安 (7/8)
- ・ 不動産大手 50 社時価総額、上半期に 8 兆円消失 (7/9)
- ・ 中国、上半期の新規融資が過去最高＝6 月も増加—人民銀 (7/13)
- ・ 衡水銀行でも取り付け騒ぎ＝口座凍結のうわさで—河南省 (7/15)
- ・ 中国人民銀、MLF1 年物金利据え置き (7/16)
- ・ ドイツ銀のアジア統括、シンガポール拠点に＝香港から移転 (7/17)
- ・ 中国、「明天グループ」金融部門、公的管理に＝傘下に保険や信託、証券会社 9 社 (7/20)
- ・ 中国人民銀、最優遇貸出金利 1 年物を 3.85%に据え置き (7/20)
- ・ アント・フィナンシャル、香港と上海で重複上場＝世界最大のユニコーンに (7/22)
- ・ 香港取引所の時価総額、世界トップ (7/23)

### ○労務

- ・ 広東省製造業の従業員給与、11 年間で初の減給＝スタンチャート調査 (7/7)

- ・ 天津市、夏季高温手当での支給基準を引き上げ (7/10)
- ・ 4~6月の香港失業率、6.2%=過去15年以上で最悪—統計局 (7/21)
- ・ 中国企業の求人、回復基調が顕著に=4~6月期 (7/23)

## ○社会

- ・ 外資企業、国家安全法による情報統制に備え=資本や事業移転も (6/24)
- ・ 違反外国人、香港で逮捕の恐れ=国際金融センターの地位に影—国家安全法 (7/3)
- ・ 中国、新型コロナワクチン、解放軍で試験投与開始か (7/7)
- ・ 「TikTok」禁止検討=中国リスク警戒—米国務長官 (7/8)
- ・ 中国政府、香港に治安機関開設=国家安全法 (7/8)
- ・ 立法会選の民主派予備選、市民61万人が投票 (7/14)
- ・ 公共交通でのマスク着用義務化=5人以上の集合禁止再び—香港政府 (7/15)
- ・ 米、香港の優遇措置廃止=トランプ氏、対中制裁法に署名—中国対抗へ (7/15)
- ・ 米企業35%「香港から撤退も」=米商工会調査 (7/15)
- ・ 国安法、8割超「懸念」=香港日系企業調査—ジェットロなど (7/16)
- ・ 中国、省またぐ団体観光旅行、条件付き解禁=約170日ぶり (7/16)
- ・ 香港、公務員の在宅勤務、20日から実施=政府 (7/20)
- ・ 67%の台湾人、「日本に行きたい」=新型コロナ収束後の海外旅行先—NKB調べ (7/21)
- ・ 中国便搭乗客にPCR義務化=新型コロナ流入阻止 (7/22)

## ○商業

- ・ ファーウェイなど20社指定=中国軍関連企業に—米国防総省 (6/29)
- ・ 広州交易会第2期、10月下旬開催の見通し=広東省 (7/6)
- ・ 中国、映画館、20日から順次営業再開=低リスク地区で定員の3割以下 (7/17)

## ○製造

- ・ 中国、次世代規格、年内に開発完了=EV充電、日中で世界標準へ (6/22)
- ・ 中国、新エネ車普及でHV優遇=日系メーカーに有利か (6/23)
- ・ 20年中国自動車販売台数、前年比10~20%減=従来予想を上方修正—業界団体 (6/23)
- ・ 中国、新エネ車生産規定を一時緩和も=新型コロナで販売急減のメーカー支援 (6/24)
- ・ 中国新車販売、3カ月連続プラス=インフラ投資で商用車好調—6月 (7/13)
- ・ 6月ショベル販売、62.9%増=3カ月連続で大幅増 (7/13)
- ・ 中国マスク業者、年内に95%破綻へ=コロナ下火で価格急落—地元紙 (7/16)

## ○運輸

- ・ 独物流大手DHL、生鮮品のチャーター便輸送再開=北海道水産物を香港へ (6/30)
- ・ 香港エクスプレス、8月2日に運航再開=段階的に (7/8)
- ・ JAL、大連—成田便を週2便に増加 (7/10)
- ・ 6月の香港空港、旅客99%減=貨物は8%減 (7/20)
- ・ 東方航空、6月乗客数は51.5%減=国際線は98%減—上海市 (7/21)
- ・ 香港MTR、22日から運行本数削減=混雑時間帯は通常ダイヤ (7/22)

<出所：時事速報・NNA>

## 東アジア駐在員コラム

### －上海夏の風物詩（グルメ編）－

上海の鬱陶しい梅雨が明けて初夏がやってくると、ザリガニ（中国語で「小龍蝦：Xiao Longxia」）のシーズンが到来します。今月は「上海の夏の風物詩」であるザリガニ料理を紹介いたします。

#### 1. 中国のザリガニ料理

日本ではあまり食べる習慣がないザリガニですが、北欧やフランスなどの欧米諸国、そしてここ中国では人気食材のひとつに挙げられます。中国赴任中にザリガニ料理のファンとなり、夏を心待ちにする日本人駐在員もいるほどです。

ザリガニ料理は家族や友人グループで連れ立ち、街中の飲食店で和気あいあいと食されることが多いようです。通常時は火鍋などを提供するお店が、ザリガニが旬を迎える夏場のみ業態を変更し、市民の胃袋を満たします。また、4～5年ほど前には四川省の省都、成都市周辺の若者たちの間でザリガニ料理が大ブームとなり、お洒落な専門店チェーンが中国全土に広がるキッカケとなりました。



<店頭に並ぶザリガニ料理>

#### 2. 主な調理法

中国のザリガニ料理には様々な調理法がありますが、四川風麻辣炒めが最もオーソドックスな味付けです。唐辛子や山椒などのスパイスが効いたザリガニ料理は冷たいビールにも良く合い、上海の暑い夏にピッタリのスタミナ料理です。

大皿の上に大量に盛られたザリガニ料理は一見食べ切れないほどの量に見えますが、可食部分は胴体部（尻尾）の小さな肉だけなので、意外なほどあっという間に完食してしまいます。価格の方はお腹一杯になるほど飲食しても、大人ひとり当たり 200 元程度（約 3 千円）と比較的リーズナブルに楽しむことができます。

中国におけるザリガニ専門店はここ数年間で急速に勢力を拡大し、マクドナルドなど大手ファストフードチェーンの店舗数をも超えました。江蘇省や四川省には養殖の産地が形成され、加工・外食から最終消費者へと続くサプライチェーンは、新たな食品産業としても注目されています。

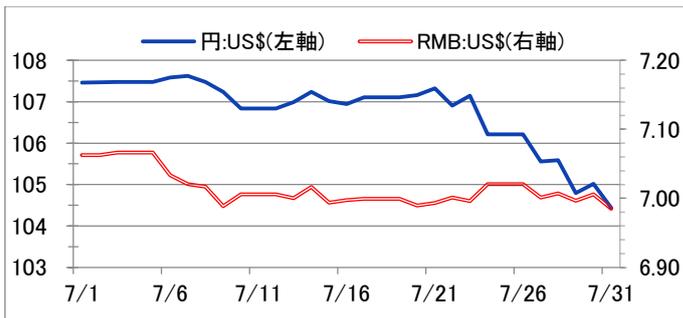
今後も、ザリガニ料理は若年層を中心に人気が高まっていきそうです。皆さまも中国にお越しの際は、ぜひトライしてみてください。

（常陽銀行上海駐在員事務所 主任駐在員 青柳暢幸）

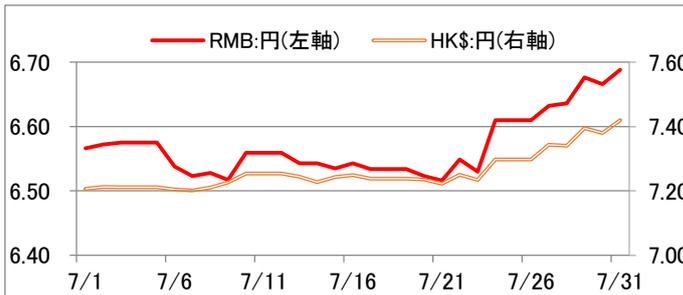
## 株式市場・為替情報

### 1. 為替市場

	月初	高値	安値	月末		月初	高値	安値	月末
円/米ドル	107.46	107.63	104.44	104.44	人民元/100円	6.5660	6.6880	6.5160	6.6880
人民元/米ドル	7.0627	7.0665	6.9848	6.9848	香港ドル/100円	7.2060	7.4200	7.2010	7.4200
香港ドル/米ドル	7.7505	7.7530	7.7497	7.7499	台湾ドル/円	0.2737	0.2823	0.2737	0.2823

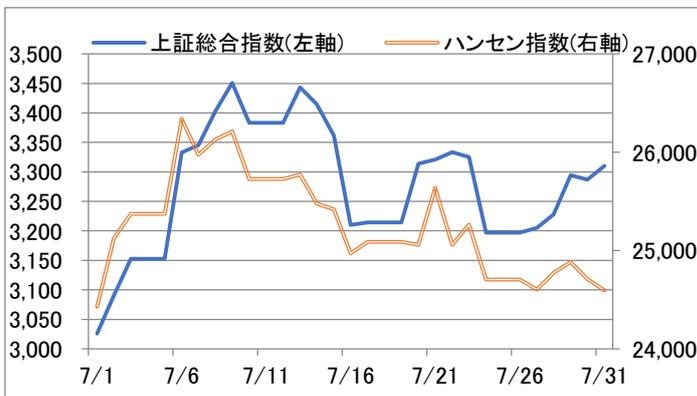


出所：中国外貨管理局（人民元）および時事通信参考値（人民元以外）



### 2. 株式市場

	月初	高値	安値	月末
上海総合指数	3,025.98	3,450.59	3,025.98	3,310.01
香港ハンセン指数	24,427.19	26,339.16	24,427.19	24,595.35
台湾加権指数	11,703.42	12,722.92	11,703.42	12,664.80



出所：各証券取引所

#### 【為替市場 (7月) レビュー】

7月初旬は上海株の急騰を受け、米ドル安・人民元高が進行。その後、株安局面で人民元安となる場面もあったが、下旬にはユーロ主導の米ドル安が人民元にも波及し、米ドル人民元は7.0近辺で推移した。

#### 【為替市場 (8月) 見通し】

8月に発表される米国の経済指標の弱さが意識されれば、米金利が低下し米ドル安人民元高が進行する可能性あり。一方で、米中対立の激化が表面化する場合には、人民元安圧力となるほか、地政学リスクにも警戒が必要。

#### 【株式市場 (7月) レビュー】

7月初旬は、6月末からの上昇トレンドを引き継ぎ、リスクオンが継続。各種経済指標の改善から、景気回復期待も高まり、上海総合指数は節目の3,400ポイントを超えた。その後は、当局による株式市場への資金流入の監視強化や米中対立の激化の懸念などから、利益確定売りに押され株価は下落する展開となった。

#### 【株式市場 (8月) 見通し】

香港市場・上海市場ともに、新型コロナ感染拡大と米中対立の激化懸念から神経質な展開が予想される。

## めぶき FG アジアネットワークのご紹介

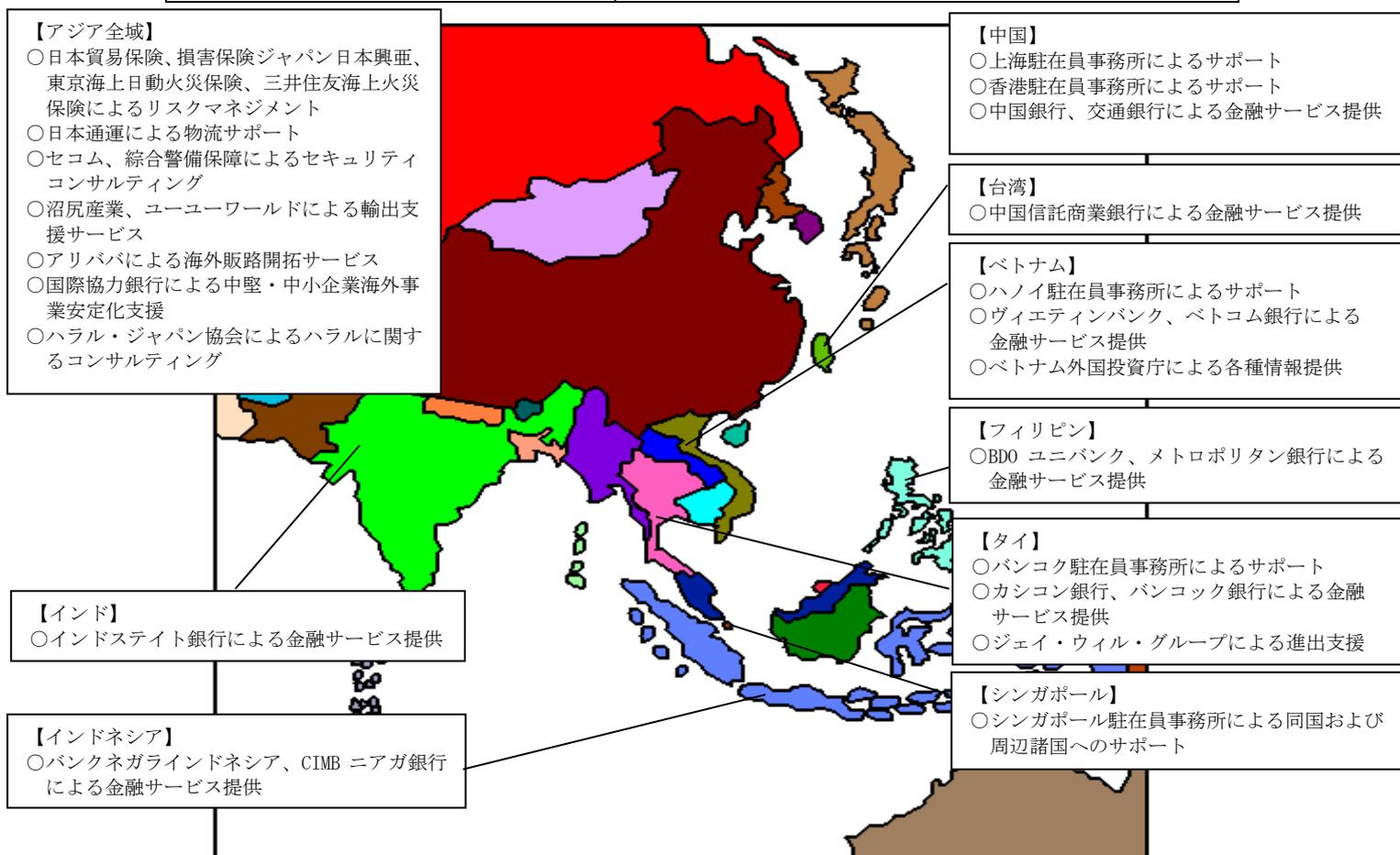
お客様の海外進出をサポートするため、様々な機関や外国銀行と業務提携を結び、支援体制の強化を進めています。

### ◎業務提携先一覧

提携先	常陽	足利	主な業務内容
中国銀行（中国）	●	●	中国国内情報の提供および各種金融サービスの提供
交通銀行（中国）	●		
中国信託商業銀行（台湾）	●		台湾情報の提供および各種金融サービスの提供
カシコン銀行（タイ）	●	●	タイ国内情報の提供および各種金融サービスの提供
バンコック銀行（タイ）	●		
バンクネガラインドネシア （インドネシア）	●		インドネシア国内情報の提供および各種金融サービスの提供
CIMB ニアガ銀行 （インドネシア）		●	
ヴェイティンバンク （ベトナム）	●		ベトナム国内情報の提供および各種金融サービスの提供
ベトコム銀行（ベトナム）	●	●	
ベトナム外国投資庁 （ベトナム）	●		ベトナム関連セミナーの開催協力 ベトナム進出に関する各種支援、投資関連情報の提供
BDO ユニバンク（フィリピン）	●		フィリピン国内情報の提供および各種金融サービスの提供
メトロポリタン銀行 （フィリピン）		●	
インドステイト銀行 （インド）	●	●	インド国内情報の提供および各種金融サービスの提供
バナメックス（メキシコ）	●	●	メキシコ国内情報の提供および各種金融サービスの提供
アグアスカリエンテス州政府 ほか（メキシコ）	●	●	メキシコに関する現地市場調査 投資情報の提供
日本貿易振興機構（JETRO）	●	●	海外事業展開や各国制度等に関する各種情報提供
国際協力機構（JICA）	●	●	途上国での海外事業展開や各国制度等に関する各種情報提供
国際協力銀行（JBIC）	●		海外展開支援融資の提供
日本貿易保険（NEXI）	●	●	輸出取引を行う際の海外取引リスクに備える各種貿易保険の提供
中小企業基盤整備機構		●	海外事業展開や各国制度等に関する各種情報提供
東京海上日動火災保険	●	●	海外リスク情報等の提供
損保ジャパン日本興亜	●	●	リスクマネジメントコンサルティングサービスの提供
三井住友海上火災保険	●	●	各種損害保険の提供
セコム	●		海外での安全システム・防犯危機商品の提供
総合警備保障	●		海外セキュリティサービスの提供

◎めぶき F G 海外駐在員事務所

常陽銀行シンガポール駐在員事務所	63 Market Street, #11-03 Bank of Singapore Centre Singapore 048942 <a href="tel:+6562256543">TEL:+65-6225-6543</a>
常陽銀行ハノイ駐在員事務所	5th Floor, Sun Red River, 23 Phan Chu Trinh Street, Hoan Kiem District, Hanoi, Vietnam <a href="tel:+842432181668">TEL:+84-24-3218-1668</a>
常陽銀行上海駐在員事務所	上海市延安西路 2201 号 上海国際貿易中心 1901 室 <a href="tel:+862162090258">TEL:+86-21-6209-0258</a>
常陽銀行ニューヨーク駐在員事務所	712 Fifth Avenue, 8th Floor, New York, NY 10019 <a href="tel:+13476868420">TEL:+1-347-686-8420</a>
足利銀行香港駐在員事務所	Suite 1601, 16th Floor, Tower 2, The Gateway, Harbour City, Kowloon, Hong Kong <a href="tel:+85222519475">TEL:+852-2251-9475</a>
足利銀行バンコク駐在員事務所	689, Bhiraj Tower at Emquartier, 27th Floor, Room No. 2714, Sukhumvit Road, Klongton-nue, Wattana, Bangkok, Thailand 10110 <a href="tel:+6622612852">TEL:+66-2-261-2852</a>



## めぶき FG イベント情報

### 【FBC 深セン 2020 ものづくり商談会 in SIMM 深セン国際機械展】 <募集終了>

日 程	2020年9月1日(火)～4日(金)
開催国	中国(広東省深セン市)
会 場	深セン国際会展中心(宝安新館)4号館
概 要	本商談会は、中国での販路拡大や部材調達を希望する日系ものづくり企業(部品・加工企業のみ)を対象とする商談会で、出展企業(50社限定)が4日間にわたり自社製品等をPRし、約10千名のバイヤー来場を予定しています。 ご来場を希望される方は以下の照会先までご連絡ください。
照会先	常陽銀行 上海駐在員事務所 TEL +86-21-6209-0258 常陽銀行 市場国際部 国際業務室 各担当者 TEL 029-300-2728～2730

### 【FBC 広東 2020 ものづくり商談会 in 南海】 <募集終了>

日 程	2020年9月23日(水)～24日(木) ※日程変更あり(変更前:8/18～8/19)
開催国	中国(広東省佛山市)
会 場	南海樵山文化中心 ※会場変更あり(変更前:インタコンチネンタル佛山)
概 要	本商談会は、中国での販路拡大や部材調達を希望する日系ものづくり企業等を対象とする商談会で、約200社の出展企業が2日間にわたり自社製品等をPRし、約2千名のバイヤー来場を予定しています。
費 用	無料/1コマ(当行経由の場合) ただし、保証金1,500人民元/1コマ(展示会終了後に返金)
照会先	常陽銀行 上海駐在員事務所 TEL +86-21-6209-0258 常陽銀行 市場国際部 国際業務室 各担当者 TEL 029-300-2728～2730

### 【FBC 上海 2020 ものづくり商談会】 <募集中> ※出展申込期限 8月21日(金)

日 程	2020年11月3日(火)～6日(金)
開催国	中国(上海市)
会 場	上海新国際博覧中心
概 要	本商談会は、中国での販路拡大や部材調達を希望する日系ものづくり企業等を対象とする中国最大級の商談会で、約300社の出展企業が4日間にわたり自社製品等をPRし、約2万5千名のバイヤー来場を予定しています。 出展対象は、自動化・ロボット、自動車関連、電子電機、環境・省エネ、機械設備など製造業全般となっています。
費 用	8,500人民元/1コマ(当行経由の割引価格)
照会先	常陽銀行 上海駐在員事務所 TEL +86-21-6209-0258 常陽銀行 市場国際部 国際業務室 各担当者 TEL 029-300-2728～2730